



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



咳の子の なぞなぞあそび きりもなや 中村 汀女

風邪をひいて看病されている子どもが、きりがいなく「なぞなぞ遊び」を親にねだって、いつまでも枕元にひきとめようとしている様子が目に浮かぶようです。親子の情愛が手に取るように伝わってきますね。最近の痛ましい虐待の報道を聞いたら、汀女はどう感じるでしょうか。

8月末から始まった長い2学期も、あと12月を残すだけとなりました。今のところ本校においてインフルエンザ等の流行はありませんが、風邪や発熱等での欠席者は増えてきたようです。市内では、11月末からインフルエンザによる学級閉鎖も出始めました。これから寒さがきびしくなりますので、健康管理にはいっそうご留意いただきたいと思います。

学校では、2学期のまとめに入っています。18日、19日の個人懇談会では、子どもたちの成長について共通理解を図り、今年をしめくりたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



PTAの皆様 ありがとうございます

笑顔がいっぱい！「八小子どもまつり」



先月17日の「八小子どもまつり」はお天気にも恵まれ、今年も大盛況でした。いたるところで、笑顔で楽しむ子どもたちの姿と、笑顔でかかわる大人の姿がたくさん見られました。例年のことながら、『子どもたちのために』と奮闘するPTAの皆様のパワーとチームワークのすばらしさを実感いたしました。販売やゲームのお世話だけでなく、物品の貸借や準備、後片づけ等でのきめ細やかさも見事でした。お世話いただいた皆様、本当にありがとうございました。

自分を大切に思う心を 他の人の大切さを認める心を

— 12月4日～12月10日は人権週間です —

学校では、学習時間をはじめ学校生活のあらゆる場面で、人権意識の高揚を図る指導を行っています。11月15日の「人権学習参観」「人権講演会」ではその一端をご覧いただき、ともに考えていただきました。ご来校ありがとうございました。


複数の人が集まる「集団」がある以上、「人権の尊重」は不可欠ですし、場合によっては個別の指導も必要になります。八幡小学校も、さまざまな個性をもつ子どもたちの集団です。これは、大人の集団、つまり社会と同じです。ですから子どもたちは、将来社会において「自他の人権を互いに尊重しあう」ことを、学校生活という経験を通して学んでいるのです。思いやりをもつこと、きまりを守ることもそのひとつです。



本校では、今後も個に応じた指導・支援を行いながら、学級などの集団において一人一人の子どもたちの大切さを互いに認め合えるような指導を継続していきたいと考えています。ご家庭での同様の働きかけも大変重要です。ご理解・ご協力をお願いいたします。

球技大会

練習の成果を発揮した



昨日の「球技（バスケットボール）大会」では、5年生が大健闘しました。男女とも、これまでの長い練習で培った技能を発揮するプレーが見られました。

また、しっかり声を掛け合う姿から、チームワークの高まりもうかがわれました。うれしさだけでなく悔しさも含め、心身ともに成長できた経験だと言えるでしょう。